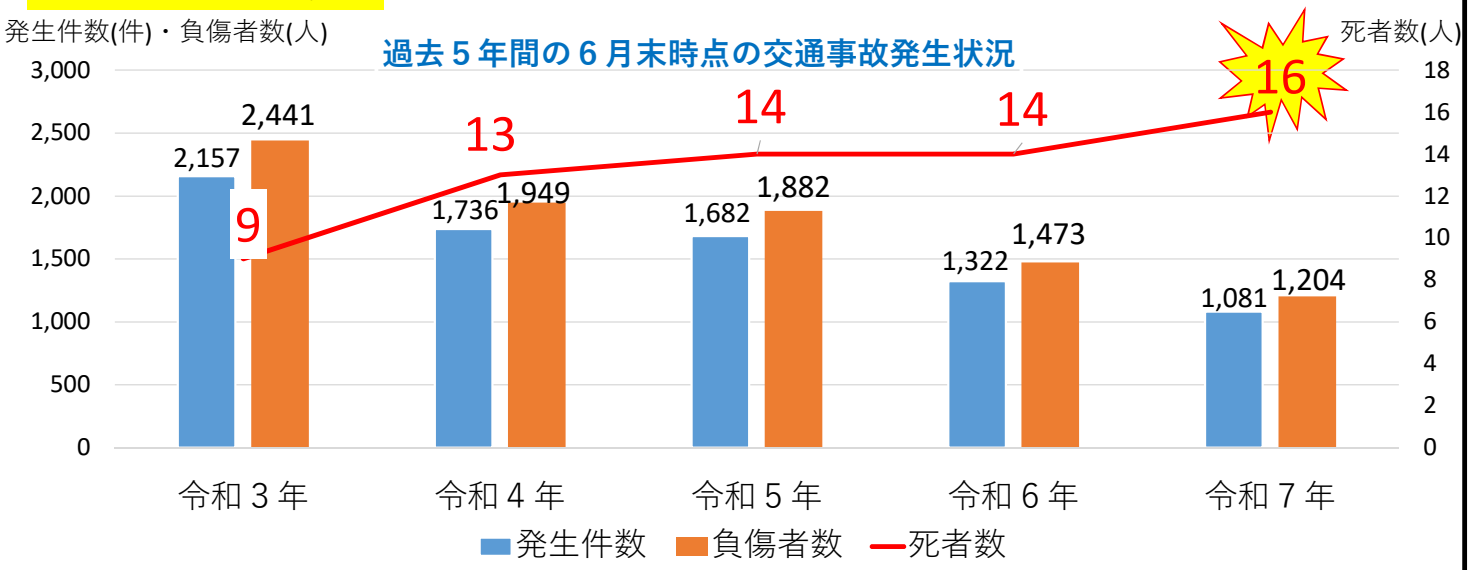
みやけい交通安全ニュース

発行：宮崎県警察本部交通企画課　R7-No.12（2025．8.8）

令和７年上半期交通事故発生状況について

令和7年上半期の県内の交通人身事故は、1,081件発生しており、昨年同期と比べると**241件減少**しています。

しかし、交通事故による**死者数は16人**で、**前年同期より2人増加**して、**過去5年間で最多**となっており、危機的な状況です。



若者運転者による交通死亡事故が３件発生！

令和7年上半期は、25歳未満の**若者運転者による交通死亡事故が3件発生**しています。

若者運転者は、運動能力や反射神経が優れている一方、運転に関する経験や知識が乏しく、交通事故を起こすリスクが高い年代と言えます。

若者運転者の特徴と傾向

若者運転者には、

- 運転技能が未熟
- 交通ルールに関する知識不足
- 車の特性や構造に関する知識不足
- 危険に対する認識が不十分
- 運転に対する自己評価が高く、歩行者や他の交通への配慮不足

等の特徴があり、**無自覚に事故リスクの高い行動をとる**傾向があります。

事故防止のポイント

- ○ 脇見をせず、運転に集中する
- ○ 交差点やカーブの手前でしっかり減速する
- ○ 安全確認を確実にできるよう、一時停止場所はしっかり止まる
- ○ 心にゆとりを持って運転する

毎月１０日は「県民交通安全の日」

地域の交通事故情勢に応じた活動を行う日です。地域や職場、学校、家庭等で交通安全活動に取り組みましょう。